

2013.7.30

農学部 7号館B棟

# 国際農業と文化ゼミナール

はじめに

溝口勝

大学院農学生命科学研究科

農学国際専攻 専攻主任

# この講義の概要(1)

- 目標
  - 発展途上国の農業が、どのような社会的・生態的制約の下にあるかを理解する。
  - 農業生産に関して追求すべき研究課題を見出す。
- キーワード
  - 農作物、農民、農村
- 授業の方法
  - 発展途上国の自然、社会、農業について、各専門分野の教員が講義を行う。
  - 講義でカバーした研究課題について、教員が学生とともに討議を行う。

# この講義の概要(2)

- 成績評価
  - － 講義への出席、課題レポート、討論での発言
  - － 課題：
    - 各回の講義内容と印象を300字で要約する
    - 提出先：[agc-kok@iai.ga.a.u-tokyo.ac.jp](mailto:agc-kok@iai.ga.a.u-tokyo.ac.jp)
    - 締切：8月9日(金)17:00
- 履修上の注意
  - － 「国際農業と文化実習」(海外実習)への参加者は、「国際農業と文化ゼミナール」の履修が必要である。
- 単位数＝2.0

# 集中講義の日程

## 7月30日(火)

- 9:30-10:00 はじめに(溝口)
- 10:00-11:30 土と農作物(岡田)
- 13:00-14:30 土と微生物(土居)
- 14:30-16:00 土と水(溝口)
- 16:00-17:00 総合討論「環境と農業」(司会:小林・溝口)

## 7月31日(水)

- 10:30-12:00 水産資源利用(八木)
- 13:00-14:30 植物資源利用(斎藤・山川)
- 14:30-16:00 動物資源利用(松本)
- 16:00-17:00 総合討論「農業と資源」(司会:八木・斎藤)

## 8月1日(木)

- 10:00-11:30 アジアの経済(高橋)
- 13:00-14:30 日本とアジアの食文化と食品産業(荒木)
- 14:30-17:00 実地研修オリエンテーション(井上)

# 文明と文化

～司馬遼太郎的解釈～

- 人間は群れてしか生存できない。その集団を支えているものが、文化と文明である。いずれも暮らしを秩序づけ、かつ安らがせている。
- 文明とは
  - 『たれもが参加できる普遍的なもの・合理的なもの・機能的なもの』をさすのに対し、
- 文化は
  - むしろ不条理なものであり、特定の集団(たとえば民族)においてのみ通用する特殊なもので他には及ぼしがたい。つまりは普遍的でない。

# なぜ国際農業と文化に関心を持つようになったか？

1960 栃木県生まれ(農家の次男)

1982 東京大学農学部農業工学科卒業

自然児・運動バカ

1984 三重大学農学部助手(農業物理学)

土壌物理学・熱力学オタク

1990 米国パデュー大学客員助教授(Agronomy Dept.)

SSSA—SSSJ

インターネットオタク

1995 三重大学生物資源学部助教授(農業物理学)

シベリア

1999 東京大学助教授 大学院農学生命科学研究科(環境地水学)

フィールド科学

2003 内閣府技官(参事官補佐)併任

役人道

2005 東京大学准教授 大学院農学生命科学研究科(国際情報農学)

国際農業

SRI

2008 東京大学教授 大学院情報学環

農業ICT

2010 東京大学教授 大学院農学生命科学研究科(国際情報農学)

# フィールド調査地域



# ツンドラの調査(1998.8)





# アラスカの調査(2000.7)





# ダバイ、ダバイ！

ロシアのフィールド研究の教授 (2000.7)



# インドネシア



焼畑調査 (2007.10.6)

森林土壌の透水性



# インドネシア・ボゴールの水田



2007.9

# インドネシア

SRIとの出会い (2006.10)



# 東北タイにおける 持続可能な農業のあり方



農民は畦をタイミングよく崩しながら、  
溜池の水を上手に使っている

# タイ・インドネシア海外実習 (2011.10)





# 2009.10 東北タイ実習



# タイ・チェンマイ (2007.12)



# 国境(タイー中国)にて (2010.3.7)



# ラオス(2010.10)



アカ族の村調査  
(2010.10.9)



子守するアカ族の女の子たち  
(2010.10.9)

# ラオス (2010.10)

## SRI水田に関する聞き取り調査



# ベトナム・ハノイ北部 (2008.12)



# チュニジアでの設置作業 (2010.1.7)



# 坂折棚田（岐阜県）





# 「国際農業と文化」を考えるヒント

- 日本の貢献
  - なぜ国際協力が必要なのか？
- 日本の技術力
  - 日本／自分に何ができるのか？
- 現地に対する理解
  - 現場のニーズは何か？
  - 生活・慣習・文化
- カウンターパート
  - 現地に信用できる友人はいるか？



NGOなどのボランティアとの  
協力も同じ

# 日本の農業戦略

- 日本の農業技術は高い！
  - 量より質
  - 気候変動に適応した食料の安定的生産
  - ジャストインタイム農業
- 日本の食料戦略
  - ポストTPPに備える
  - 世界の持続的な農業生産
    - 日本だけで自給できるわけではなく、世界を支えることが日本を支えることになる
    - 東南アジアとの連携

この講義からヒントを見つけてほしい

ありがとうございました

භව්‍යතූණතූණ

Terima kasih  
salamat sa inyo

Cảm ơn bạn

谢谢

Thank you

